



リドックス diKaP (ダイカップ)

成分

可給態リン酸 (P_2O_5)	31%
水溶性カリウム (K_2O)	50%

リドックスdiKaPについて

リドックスdiKaPは植物に栄養素として高効率なリン酸およびカリウムを供給する顆粒水和材です。

どのように働くか？

リドックスdiKaPは抗酸化作用を持つフェノール化合物の働きを促進する特有な効果を持ちます。

ストレス対応！

この製品の主な特長

1. 酸化ストレス、特に極端な温度と水に関連するストレスに効果的
2. 高効率な植物栄養素としてのリン酸とカリウムを供給
3. バランスのとれた植物栄養素を供給し、作物を強化する

最も効果的な使用法

葉面施肥の場合

施用量：0.15～0.45 g/m²

散布水量：50 mL/m² 以上

を葉面に直接散布して下さい。

土壌施肥の場合

施用量：0.25～0.9 g/m²

散布水量：100 mL/m² 以上

を土壌面に直接散布して下さい。

施肥量、散布間隔は土壌の要求量や芝種に依ります。

用語の説明

抗酸化物質(作用) — 活性酸素による細胞障害への効果を弱めたり、活性酸素自体を消去したりする効果を持った化合物またはその作用。

植物の栄養バランス — 植物体内の栄養バランスを保つことで抗酸化物質の生産が促進され、ダメージやストレスから効率的に回復することができる。

コンプレクシング(錯体化) — 陰イオンまたは1価の陽イオンの栄養素をアミノ酸、フミン酸等と結合させることにより土壤中においてほかの栄養素との望ましくない結合を回避し吸収されやすくする効果を持つ。

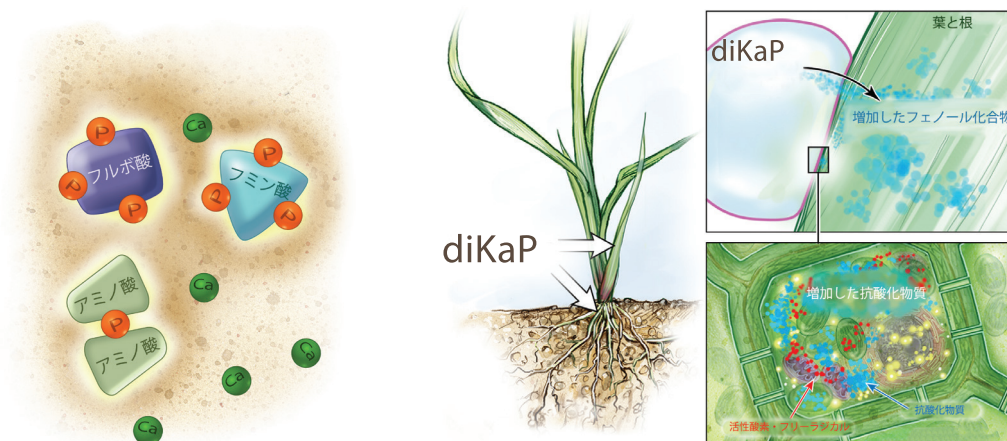
酸化ストレス — 植物体内に活性酸素が蓄積されることで起きる。過剰な活性酸素によって植物内の細胞が傷つけられることで、病害などのリスクが増大する。

活性酸素(フリーラジカル) — 反応性の高い酸素化合物の総称。植物体内において細胞に作用し、細胞にダメージ(劣化および破壊)を与える原因となる。

フェノール化合物 — ヒドロキシ基を持つ有機化合物で抗酸化作用を持つ。

リン酸 — 植物体内においてエネルギーの生産、細胞分裂促進に関わる。

カリウム — 植物体内において水と栄養素の輸送に関わる。ストレス対応に必須の栄養素で、60種類以上の酵素を活性化する。



取扱代理店



株式会社アクションコーポレーション
〒104-0041 東京都中央区新富1-18-12
Tel 03-3553-7701 Fax 03-3553-7707